

		第一選択	第二選択
医学的区分	心性・腎性・肝性の各浮腫	フロセミド錠	アゾセミド錠 トラセミド OD 錠

※1参考ガイドライン:①急性・慢性心不全診療ガイドライン2017改訂版②高血圧治療ガイドライン2019 ※「経口剤」のみを対象とする

【詳細】

◎第一選択薬について

- ★フロセミド:①広い適応を有し、様々な病態における浮腫・高血圧の治療薬として使用可能で多くのガイドラインで挙げられる。
- ②薬価も安く、剤形に選択肢があり利便性に優れる。

◎第二選択薬について

- ★アゾセミド:①有効性に関するガイドラインの推奨や臨床試験のエビデンスがフロセミドに比べ劣る
- ★トラセミド ②適応症が浮腫のみ

【注釈】

- ①ループ利尿剤全体として有効性を検証する直接比較の臨床試験が少ないため単純に比較はできない。
- ②禁忌・併用禁忌には差異はなく同一であり、特定の背景を有する患者に関する注意や併用注意に関しても差異はない。
- ③参考として以下に等価換算の目安を示す
フロセミド20mg ≒ アゾセミド30mg ≒ トラセミド4mg

ループ利尿剤・桜ヶ丘院内フォーミュラー

成分名 (先発品名)	フロセミド (ラシックス)	アゾセミド (ダイアート)	トラセミド (ルプラック)
剤形・力価	錠10mg/20mg 「NP」	錠30mg 「DSEP」	OD錠4mg 「TE」
薬価(円/錠)	両規格共6.1	10.1	5.9
適応症 全て小児適応はなし	心性浮腫(うっ血性心不全)・腎性浮腫・肝性浮腫、末梢血管障害による浮腫、高血圧症(悪性、腎性、本態性)月経前緊張症、尿路結石排出促進	心性浮腫・腎性浮腫・肝性浮腫	心性浮腫・腎性浮腫・肝性浮腫
用法用量	1日1回 もしくは隔日投与	1日1回	1日1回
海外承認状況	米国・英国 (成人に対し浮腫・高血圧症 小児に対し浮腫)	—	米国・英国(浮腫・高血圧症)
特徴		利尿作用が緩和で持続的	抗アルドステロン作用(+)